

聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

2025.6.8
No.71



これまでも、今も、これからも

関東聖化交友会 会長

千代崎 備道

今年の聖化大会は聖化交友会の40周年を記念しての大会です。これまでの歴史を振り返り、導いてくださった主に感謝すると共に、これからの歩みに期待する大会となることを願っています。そのような大切な大会が行われる年に、関東聖化交友会の会長という重責を担うことになり、個人的には今から緊張しているのが正直なところではあります。

私自身のきよめの証しは、聖会でさせていただいたことでもあります。小学校4年生で救いの恵みに与り、その後、救いの確信をいただきましたが、それでもなお罪の問題に悩み、何かを求め、それが「きよめ」だということを教えられて以来、十年間、聖会やキャンプに出席するたび、聖められることを求め続けてきました。大学4年生の夏、バイブルキャンプで神さまの前に立たされ、二つの御言葉をいただきました。一つは「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる」(第一ヨハネ一・9、口語訳)で、もう自分はきよめられないと諦めそうになっていた者に神さまが「わたしがきよめるよ」と語ってくださいました。もう一つは「主は愛する者を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである」(ヘブル一二・6、同)で、これから訓練や様々な経験を通して神さまが私を訓練され、聖化の恵みに成長させようとしておられることが段々と分かってきました。神学校入学、そして牧師となり、留学をし、牧会の現場で悩む中で、また様々な聖会に出席して、聖められた恵みを

確認し、また信仰において成長させていただいたのではないかと、と思います。

聖化は実に豊かな祝福です。一回きりで過去のものではなく、何度も味わい、深められ、成長する恵みです。以前の「きよめ」では瞬間的(転機的)聖化が強調されることが多かったようですが、今は、転機的聖化を大切にしつつ、その後の漸進的聖化にも目が向けられ、また個人的な体験だけに留まらず、教会全体に広がり、また社会においても実を結ぶ祝福として教えられていると思います。そのような深さ広さのある聖化ですが、同時に、急所とも言えるべき「とき」があつて、御言葉によって取り扱われ、時には悔い改め、時には教えられる。そのような転機的な体験が節目となつて、また前進し、広げられていくのだと思います。そして、そのような機会の一つとして、聖化大会が用いられていることを主に感謝します。

聖化交友会の働き自身にも歴史があり、長い時間の中で神様に用いられてきました。その歴史と、また節目となる40周年の大会をも特別な「とき」として祝福されることを願っています。どうぞ全国の「きよめ」の友の皆さん、一緒に祈りください。現代はインターネットという方法もありますので、世界中から参加してくださる方々をお待ちしております。



もくじ

- 巻頭言メッセージ..... p.1
- 2025年聖化フォーラム 講演..... p.2
- 2025年聖化フォーラム レスポンス..... p.3

- ロン・スミス博士の紹介..... p.3
- 新たに加わった教会紹介..... p.4
- 聖化大会日程、書籍案内、編集後記..... p.4

JHAのスピリット

日本聖化交友会（JHA）は今年、創立 40 周年を迎えます。発足当初から関わってくださった峯野龍弘先生にご講演をいただきました。戦前から続く日本のホーリネス運動の歴史から解き明かし、JHA が今年創立 40 周年を迎える意義を語っていただきました。

日本聖化交友会の歴史を振り返って

ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会牧師

峯野 龍弘 師



1 創設に先立つ歴史的背景

そもそも、いわゆる我が国における「聖め派」は、1900年代初期に誕生した「バットン・ウィルクス」による西の聖め陣営と、中田重治、笹尾鉄三郎による東の聖め陣営の宣証した「全き聖めの恩寵」に淵源し、更にこれに救世軍やメソジスト、アライアンスなどが呼応しました。これらの存在は、それまでの日本の伝統的な教会の中にあつた儀式化・形骸化しつつあつた流れに、新たな霊的・信仰的生命を吹き込み、教会とキリスト者に決定的な刷新と変革を与えました。そして福音が上流社会から一般庶民の中に一気に広がり、教会は活性化し、宣教が活発化しました。このことは、当然のことながら当時の日本全土の福音化に大きく貢献したのでした。

しかしサタンは、やがて東の聖め派の中に分裂事件を起させ、それが治まったかと思ふ間もなく、日本を軍国主義華やかな第一次世界大戦、続いて第二次世界大戦へと巻き込み、福音宣教の道は塞がれ、のみならず特に東の聖め派には、国家・軍部からの激しい弾圧が起り、全国各地の多くの教職が、官憲に逮捕、投獄され、中には殉教者まで起こりました。教会は解散・閉鎖を命じられ、教職たちは、その教職籍を剥奪され、信徒たちは礼拝を守る場を奪われ、それが約3年間、日本の敗戦まで続きました。

しかし、遂に日本は敗北し、占領軍司令官マッカーサーの名を受けて、教職たちは

獄から解放され、教会は復興を許され、海外からの多数の宣教師が来日し、あたかもキリスト教会の「黄金時代の到来」を思わせるかのような、一気に福音宣教と教会形成の加速を見ることが出来ました。

かくして、キリスト者を含め日本中が、戦後の貧しさから立ち上がり、GHQ主導の「新憲法」下にあつて、日本人の持ち前の勤勉さをもって、急速な戦後復興を遂げました。ふと気づくと早、戦後一五年が経過し、昭和35年（1960）頃には、高度成長を遂げ始めた日本社会は、大きな問題に直面しました。それが安保闘争との遭遇でした。そして社会は、この嵐の中で大きく揺さぶられ、キリスト教会の中には、後に「社会派」と呼ばれた社会主義的イデオロギーを標榜する人々に駆り立てられた、いわゆる造反運動が火の手を上げました。彼らのターゲットは、高度成長の背後で喘ぐ貧しい人々のことを顧みず、もとより欧米のキリスト教国の庇護のもとに成長し、安きをむさぼるかの如き、愛と宣教への熱情を失った既成教会の教職信徒たちの信仰の形骸化と空洞化にむけられ、厳しい糾弾に発展して行きました。そして昭和45年（1970）にはそれが沸騰点に達し、日本基督教団などの教会では、赤ヘルメットとゲバ棒を持った学生たちが立てこもると言う事件にまで発展しました。こうした時流の中で、この時流に流されることなく、聖書の福音信仰に固く立ち、「信仰の空洞化、形骸化・儀式化」に決して陥ることな

く、宣教と教会形成・信徒育成に打ち込み続けることが出来るには、何としても単なる福音的信仰ではなく、お互いに託されている「聖め派」本来の聖霊の満たしによる明確な「聖め体験」と純正な「ホーリネス信仰」、すなわち「聖めの恩寵」の宣証による以外でないとの、強い確信と使命感に立たされたのでした。まさにこれが、「日本聖化交友会」の創設の所以となりました。

2 日本聖化交友会の創設と再編成

日本聖化交友会が創設される以前から、すでに全国の主なる十二の「聖め派」諸団体の代表が集まり、「日本福音連盟」（1951年）を形成していましたが、このような強い確信と重大な使命を痛感する中で、全国の「聖め派」の諸教会並びに教職・信徒が丸となって交わり、学び、研修を深めるために、新たな組織の誕生が切に求められました。そこで西の長島幸雄師、東の本田弘慈師の強力な導きの下で、1984年10月から数回にわたる予備会議が行われ、遂に1985年12月2日に東京のお茶の水クリスチャンセンターで「日本聖化交友会」が発足したのでした。そしてその後、初代会長の本田弘慈師の当初からの念願であつた全国各地での地区大会の開催と地区委員会の組織化が実現するに及び、1991年3月には、機構改革と組織の再編成がなされ、名称も新たに「日本聖化協力会」となり、各地区の委員会を「地区聖化交友会」と呼ぶようになりました。



第8回JHA聖化フォーラム

3月3日（月）日本聖化協会評議員会の前に第8回「聖化フォーラム」が開催されました。今回のテーマ「JHAのスピリット」、40周年と特別企画でした。

講演へのレスポンス

チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会牧師

古波津 真琴 師

「神のみこころは、あなたがたが聖なる者となることです。」

（1テサロニケ4・3）

今回、峯野先生を通して「聖化の宣証」の歴史が紐解かれていったことに感動を覚えました。名だたる先生方が「聖化の宣証は一教会だけではできないこと」とし、協力して公同の教会に広げようとした恵みの足跡を見るかのようなものでした。既存の働きの「そもそも」を聞くことは、生きた証しとして伝えられ、働きを機械的にすることなく、むしろいのちを吹き込んでいくものだと思っています。聖化を宣証する働きを、これからも生きたものとして受け継いでいくためには、単に「聖会に出なさい」というDOINGの言葉ではなく、「私にとってきよめとは」という証しが、個々人から豊かに語られるようになる必要があると思います。私個人の観察ですが、信仰継承されている人たちは、自分の親の証しを知り語ることができる人が多いと感じています。逆に、親の証しを知らず「教会行きなさい」とだけ

言われ育った人の信仰は、なかなか育っていないように見受けられます。この事は、きよめの恵みを手渡していく際にも言えることだと思います。「そこに証しがあるのか」です。もちろん、これは簡単な話ではありません。証しを聞きつつも、家庭での親の振る舞いのギャップをみて躓く子どももいます。ただここで整理しなければならないのは、「たとえ子どもでも、親の神体験を否定してはならない」という事、「まずその証しは真実である」とし、実際躓いていることに関しては、これから取り扱われていくこととしてとりなしていく事、と言えると思っています。

これらを書いた目的は、人の判断で量られるきよめ、ではなく、みことばの権威によってもたらされるきよめの約束です。みことばの権威をますます回復させ、そこから生まれてきた証しの数々を、恵みとして受け止めていくことが、聖化の宣証の働きにいのちを更に溢れさせるものとなると信じます。

2025年秋の聖化大会 聖会講師

JHA 創立 40 周年記念大会

ロン・スミス博士をご紹介します！

ロン・スミス博士（Dr. Rom Smith）は、学識の分野においては、アズベリー大学、アズベリー神学校（MDiv 取得）を経て、プリンストン神学校で神学修士号（ThM）を取得し、ドルー大学大学院で哲学博士号（PhD）を取得されました。

奉仕分野においては、1982年、合同メソジスト教会の青年牧師として教会開拓を皮切りに、フランシス・アズベリー協会事務局局長を経て、1998年、若くしてウェスレー・ビブlical・セミナリー（WBS）第5代学長に就任、デニス・キンロー博士らの絶大な信頼を受け、13年間実りある奉仕をされました。退任後、フィラデルフィアにおける牧会、フランシス・アズベリー協会会長などの要職を経て、現在、オハイオ・クリスチャン大学学長を務めておられます。ドレナ夫人との間に既婚者の二人のご息女がおられます。



知性と霊性、学識と行動力が見事にブレンドされた神の器です。米国始め、世界各地で講演、講義、説教活動をしておられますが、2014年、日本聖化協会の招きを受け、日本各地の一連の聖会で素晴らしい奉仕をされました。揺るぎない聖化信仰とパイタリティーに富む行動力を持つ博士こそ、日本聖化協会40周年記念大会の講師に最もふさわしい器であると信じて止みません。

新たに加入された教会紹介

昨年、広島キリスト教会を私たちのお仲間にお迎えしました。ご歓迎ください。



広島キリスト教会
主任牧師 日山かおる

単立・広島キリスト教会を、日本聖化協力会にお受入れいただき、感謝いたします。

父、植竹利侑の熱きアガペー・ホーリネスのメッセージを産湯に、母の賛美の歌を子守唄に育った私が、主にとらえられ変えられたのは「おことばどおり、この身になりますように」というみことばでした。その時から予測だになかった教会音楽家の道が開かれ、またパイプオルガン奏者としてヨーロッパ各地を飛び回り、東京芸術劇場での演奏を最後に、同じみことばで牧師へと召されました。日々自我を磔殺され、「あなたのおことばどおり、この身になりますように」と告白つつ、広島キリスト教会の根幹というべき聖化の恵みが語られ続けるように願ってやみません。

各地で持たれるフォーラム、聖化大会に参加させていただきます。どうぞよろしく願いたします。

2025年に開催される各地の聖化大会

北海道聖化大会	未定	未定	未定
宮城聖化大会	9/15	山口紀子師	仙台青葉荘教会を予定(ネット併用)
山形聖化大会	9/23	工藤弘雄師	ウェスレアン・ホーリネス山形南部教会
栃木聖化大会	5/18	佐藤義則師	ホーリネス教団栃木教会(ネット併用)
関東聖化大会	10/13、14	ロン・スミス師	インマヌエル中目黒教会
関東青年大会	5/26	中村 穰師	COG川崎教会
東海聖会	6/28、29	飯田 岳師	活けるキリスト一麦教会
東海聖化大会	10/16	ロン・スミス師	インマヌエル名古屋教会
遠州聖会	2026/2/8	鎌野直人師	インマヌエル浜松教会
ジョン・ウェスレーに学ぶ会	5/23	仁科師/畑野師、本村師・久保木師	救世軍セントラルホール
ジョン・ウェスレーに学ぶ会	10/17	ロン・スミス師	ナザレン教団大阪桃谷教会
岡山聖化大会	10/19	ロン・スミス師	日本イエス・キリスト教団岡南教会
四国聖化大会	未定	未定	未定
九州聖化大会	10/20	ロン・スミス師	未定

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そして教会に、さらにお住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。http://jha.christ.gr.jp/

北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会(大阪)／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

日本聖化協力会 評議員名簿 (50 音順、敬称略)

秋山直光、飯田 岳、宇賀神努、大友英樹、岡 摂也、荻野倍弘、川崎 豊、工藤弘雄、ブランドン久芳、小泉 創、小坂嘉嗣、古波津保秀、坂本憲子、佐藤信彦、関 昌宏、田中多恵子、千代崎備道、坪内信治、新田栄一、畑野順一、馬場誠一、ロビン・ホワイト、峯野慈朗、ステファン・モリス、矢木良雄、吉村和記、カイリー・ラウ

会費納入のお願い

加盟教団・諸団体：年会費 10,000 円(一口)
振込先：みずほ銀行 九段支店(普) 0626657 日本聖化協力会
ゆうちょ銀行 00180-2-281255 日本聖化協力会

聖化の説教 全3巻

旧約編2巻
新約編1巻



旧約編 I

定価 1,650 円(税込)

創世記からエステル記まで、聖書の英雄的な行動や惨めな失敗、信仰の輝きが…。



旧約編 II

定価 1,650 円(税込)

ヨブ記からマラキ書まで、知恵文学、詩歌、預言者によって語り継がれた聖化の恵み。



新約編

定価 1,980 円(税込)

新約聖書の各巻から25の説教で聖化の恵みに触れることができる待望の説教集。

編集後記

聖化 71 号をお届けします。記録的な遅い発行になってしまいました。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。今年は日本聖化協力会が新たな信仰をもって出発して 40 年目の記

聖化 No.71 2025 年 6 月 8 日発行

念の年となります。この記念の年にウェスレー・ビプリカル・セミナリー学長のロン・スミス博士をお迎えすることになりました。秋の聖化大会をご期待ください。聖会の記録が動画としてアーカイブに載せられる予定です。ぜひご覧ください。(矢木)

発行 日本聖化協力会 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 携帯 080-4146-4221 (事務局：古波津美嗣)
E-mail holiness19851202@gmail.com URL http://jha.christ.gr.jp/ 編集担当：矢木良雄／錦織 寛